

第 4 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

(第 3 号)

1 平成7年12月15日(金曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 23名

1番 辻田 実
3番 三上 英男
5番 忍足 利彦
7番 斉藤 実
9番 島田 保
11番 秋山 光章
13番 脇田 安保
16番 鈴木 忠夫
18番 日下 君敏
20番 神田 守隆
22番 榎本 春光
25番 飯田 義男

2番 本橋 亮一
4番 小幡 一宏
6番 鈴木 順子
8番 増田 基彦
10番 宮沢 治海
12番 植木 馨
15番 山崎 雅己
17番 岩村 勝弘
19番 川名 正二
21番 山中金治郎
24番 福原 勤

1 欠席議員 2名

14番 永井 龍平

23番 石井 昌治

1 出席説明員

市長 庄司 厚
収入役 川上 義雄
総務部長 神子 純一
経済環境部長 小沼 晃
水道課長 谷貝 実

助役 小幡 清之
企画部長 永野 修
市民福祉部長 渡辺 富雄
建設部長 三平 孝司
教育委員会
教 育 長 高橋 博夫

1 出席事務局職員

事務局長 兵藤 恭一
書記 四ノ宮 朗
書記 小山 真

事務局長補佐 鈴木 哲
書記 安田 仁一
書記 松浮 郁夏

1 議事日程(第3号)

平成7年12月15日午前10時開議

- | | | | |
|------|---|--------|-------------------------------------|
| 日程第1 | { | 議案第54号 | 政治倫理の確立のための館山市長の資産等の公開に関する条例の制定について |
| | | 議案第55号 | 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について |
| | | 議案第56号 | 工事委託協定の変更について |
| 日程第2 | { | 議案第57号 | 平成7年度館山市一般会計補正予算（第3号） |
| | | 議案第58号 | 平成7年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号） |
| | | 議案第59号 | 平成7年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第1号） |
| 日程第3 | { | 請願第3号 | 「義務教育費の国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書 |
| | | 請願第4号 | 「教育予算の増額に関する意見書」採択に関する請願書 |
| | | 請願第5号 | タヌキ・アナグマの徹底駆除に関する請願書 |

開 議 午前10時02分

◎議長（辻田 実君） 本日の出席議員数23名、これより第4回市議会定例会第3日目の会議を開きます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第1、議案第54号乃至議案第56号の各議案を一括して議題といたします。

質疑応答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

通告がありますので、発言を許します。

20番議員神田守隆さん。御登壇願います。

(20番議員神田守隆君登壇)

◎20番(神田守隆君) 既に通告しました諸点についてお尋ねをいたします。

議案第54号政治倫理の確立のための館山市長の資産等の公開に関する条例の制定についてお尋ねをいたします。第5条第2項の資産等報告書の閲覧についてであります。この条例上の規定では、何人も市長に対し閲覧の請求をすることができますとなっていますが、市長にはこれに応じる責任があるとは書かれていないわけであり。閲覧請求があった場合、市長はこれに応じる責任がある、こういうふうに理解できるものでありましょうか。

次に、第6条では、資産等公開に関し必要な事項は規則で定めるとしていますが、この規則の内容について、その考え方等を御説明をいただきたいと思うのであります。

次に、資産等の報告書を閲覧し、その内容に間違いや、あるいは正しくないなどの疑義があった場合、だれがどのようにその報告書の検査をするのでありましょうか。例えば、政治倫理条例をいち早く制定した福岡県大野城市の条例を見ますと、政治倫理審査会を設置し、ここが審査する権限を持つようになっています。市民からの調査請求に応じるともされているわけであり。独立した審査機関の設置について検討しなかったのでありましょうか、お聞かせをいただきたいと思います。

次に、議案第55号館山市市税条例の一部を改正する条例の制定についてお尋ねをいたします。市税条例の一部を改正し、例えば阪神・淡路大震災にかかわる固定資産税、都市計画税の負担軽減を図るとされているわけですが、これに関連をいたしまして、固定資産税のあり方についてお尋ねをしようとするものであります。

まず第1点は、いわゆるバブル崩壊で地価が大幅に下落しているのに、固定資産税は安くなるどころか、ますます重くなっているのが現状であります。一体どうなっているのだと市民が思うのは当然だと思います。先日、国鉄清算事業団から館山駅西口の旧官舎のあった宅地が売りに出されました。その

価格は平米当たり約7万 5,000円であります。ことし7月に発表された近隣の基準地価は平米当たり11万 4,000円であります。実際の売買価格に対して実に50%も割高になっているのであります。地価の大幅な下落が始まっているのではないかと考えるのであります。だとすれば、実勢価格に対して事実上大変高い固定資産税を課税していることになるわけでありまして。固定資産評価額の見直しについて、必要ではないかと考えるのであります。どのようなお考えでありますか。

次に、宗教法人法が改定されましたが、この宗教法人法改定をめぐる審議で大きくクローズアップされた問題は、宗教法人の非課税特例をめぐる問題でありました。この非課税の対象となるのは、宗教法人の所有一般ではなく、専ら信仰上の対象となる宗教施設に限られていますが、一部の宗教法人がこの非課税特例を最大限に利用して課税逃れをしている問題でありました。宗教施設と言いながら、事実上選挙運動の拠点として利用されているが、それでも非課税なのか、こういうことが国会で論議されたかと思うのであります。館山市内にはそうした問題はないと言えるであらうでしょうか。その施設が宗教施設かどうか、非課税とするかどうかの判断は市の責任であります。そこで、市の判断基準についてどのように考えられているのか、お聞かせをいただきたいと思ひます。

次に、議案第56号工事委託協定の変更についてお尋ねをいたします。館山市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定の一部変更であります。一般質問でも取り上げましたが、下水道事業団の電気設備工事をめぐる談合事件の裁判の過程で下水道事業団自体が談合に深く関与していたことが明らかになってまいりました。一般的には、不正、不当なことがあれば、それらの業者は入札資格を取り上げられたり、指名停止など、入札から排除されるわけでありまして。下水道事業団は公的な機関であるだけに、その責任は一般企業の場合よりもより厳しくたゞしていく必要があると思うのであります。そうでなければ、とても安心して委託できないと思うのであります。下水道事業団自体が進んで今回の事件について報告し、釈明するのがまず筋道ではないかと思うのであります。下水道事業団自体から今回の電気設備を

めぐる談合事件について何らかの報告が市になされているのかいないのか、お聞かせいただきたいと思います。

次に、行政の不正などの監視に取り組んでいる全国市民オンブズマン連絡会は、全国的に一齐に監査請求を行いました。請求内容は、違法な談合によって市の財政に不当な支出を強いた。事業団やメーカーは市のこうむった損害の補てんをするよう求めるべきだというものであります。納税者として当然の主張と思うのであります。監査請求を住民から出されるまでもなく、そうした事態があれば、率先して事業団やメーカーに対して請求するのが当然だと思うのであります。かつて市長は、市民に開かれた明るい市政にするために、オンブズマン的制度の導入を選挙の公約とされていきました。市民に開かれた明るい市政ということから考えれば、率先してそうした事態があれば事業団やメーカーに対し請求をしていくのは当然のことだと思うのでありますが、こうした住民の監査請求についていかがお考えになりますか。

以上、御答弁によりまして再質問をさせていただきます。

◎議長（辻田 実君） 庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） ただいまの神田議員の御質問にお答えいたします。

議案第54号に關します第1点目、報告書の閲覧請求に市は応ずる責任があると思うが、この御質問でございますが、条例案第5条第2項の規定によりまして、報告書は閲覧することができます。

第2点目、規則への委任はどのような内容であるかとの御質問でございますが、資産等報告書及び資産等補充報告書、所得等報告書並びに関連会社等報告書について、報告すべき対象、分類及び様式等、条例の施行に必要な細則を定めた内容でございます。

第3点目、報告書への疑義について、検査はだれがどのように行うかとの御質問でございますが、審査する機関については考えておりません。

次に、議案第55号に關します第1点目、固定資産評価額の見直しについての御質問でございますが、固定資産評価額につきましては、地方税法第349条の規定によりまして、3年度ごとに評価替えを行っております。次の評価

替えは平成9年度でございます。

次に、第2点目、宗教法人の非課税規定の基準についての御質問でございますが、非課税の基準は、地方税法第348条の規定によりまして、宗教法人が専らその本来の用に供する宗教法人法第3条に規定する境内建物及び境内地でございます。

次に、議案第56号に関します第1点目、談合事件について、事業団からの報告や釈明はあったかとの御質問でございますが、平成7年6月に、事業団の発注業務の公正さについて不信を招いたことに対し、極めて重大な事態であると認識しており、大変厳粛に受けとめているところであるとの報告がございました。さらに8月、重大な責任を痛感しており、今回のような事態の再発防止はもとより、二度と疑惑を招くような事態が生ずることがないように、業務の執行に万全を期してまいりたいとの報告を受けております。

次に、第2点目、市民オンブズマンの住民監査請求についての御質問でございますが、新聞によります報道では、住民監査請求が出されているところもあるようでございますが、館山市におきましては事業が適正に執行されております。

以上でございます。

◎議長（辻田 実君） 20番神田さん。

◎20番（神田守隆君） 54号についてでありますけれども、この条例によりますと、市長は報告書作成の義務があって、そして住民は市長に対して報告書の閲覧を請求できるというふうになっているわけなんです、具体的なイメージとしてよくわからないんですけれども、市長さんは報告書をつくって、その報告書は市長さんに提出するということになるんじゃないかな。そして、市長さんに対して我々が閲覧の請求をする、こういう条例になっているかと思うんです、建前は。具体的には市長さんがつくる報告書というのは――市長が市長あてに、自分が自分あてに出してというのも何かちょっと――実際はどういうことなのかなというのがわからないので、そこらがどういうふうになるのか。我々が市長あてに閲覧請求をするということに条例上になっているわけですが、市長さんのうちへ行って見せてよというわけ

でもないでしょうから、その辺は具体的にどういうふうな機関が責任を負うような——実務的になるのか、具体的なイメージがぴんとこないものですから、御説明をいただきたいなと思います。

あとの問題は、また別の機会もあろうかと思しますので、その点だけ聞かせてください。

◎議長（辻田 実君） 永野企画部長。

◎企画部長（永野 修君） 条例にも書いてございますけれども、資産報告書あるいは所得の報告書等につきましては、準則の中で様式が定められておりまして、このような中でそれを市に提出いたしまして、閲覧という形になるわけでございますけれども、具体的には、今回は任期の途中でございまして、当然公布日から起算してということになると思いますが、条例の中で公布日から起算して100日経過した後に5年間の保存期間、それから作成期日の翌日から60日間、閲覧する前の事務手続等の猶予期間を置きまして、それ以後請求があった場合については、市でしかるべき場所を指定して閲覧をさせる、こういうことになるわけでございます。

◎議長（辻田 実君） 以上で20番議員神田守隆さんの質疑を終わります。

以上で通告者による質疑を終わりますが、通告をしない議員で御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となっております議案第54号乃至議案第56号の各議案は、お手元に配付の議案付託表のとおり、所管の常任委員会に付託いたします。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第2、議案第57号乃至議案第59号の各議案を一括して議題といたします。

質疑応答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

通告がありますので、発言を許します。

20番議員神田守隆さん。御登壇願います。

（20番議員神田守隆君登壇）

◎20番（神田守隆君） 議案第57号平成7年度館山市一般会計補正予算（第3号）についてお尋ねをいたします。私の質問は議案書に沿って行ってもらいます。

12ページをお開きください。衛生費の中の環境衛生費についてお尋ねをいたします。今回の補正では、1,777万6,000円の追加補正で合併処理浄化槽設置事業補助金が支出されています。説明資料によりますと、設置基数の増加によるものとされているわけであります。合併浄化槽の設置は、下水道事業などに比べ、一般的に1軒当たりの工事費用は大変安上がりで済ますことができると言われます。しかしながら、その普及がなかなか進まなかったのも事実であります。そこでお尋ねしますが、合併式浄化槽の普及状況について、単独式浄化槽との設置割合などの状況についてどのような変化が生まれてきているのか、御説明をいただきたいと思います。

次に、この環境衛生費に関連をいたしましてお尋ねをいたします。きのうテレビを見ておりますと、神奈川県に残土の違法埋め立てがちょうど放映されておりました。興味深く見たところであります。市内でも各地で残土の埋め立てが急速に進められようとしております。一昨日の三上議員の一般質問では、市内の谷という谷が埋められてしまうことにならないかと、率直な危惧が述べられていたと思います。市は、残土の持ち込みは法的に規制が困難であり、残土条例で安全性などを厳しくチェックしていく以外方法はないと答えていたかと思うのであります。私は、全員協議会でも問題になりました神余の残土埋め立てについて、条例に基づく措置が極めて甘かったのではないかと思うのであります。厳正に条例に基づく措置をとるという姿勢を行政が示すことが大変大事ではないかと思うのであります。やり得と業者に思わせるようなことがあっては絶対ならないと思うのであります。条例に基づく手続を申請しながら、依然として持ち込みを中断しなかったというのは大変

問題ではなかったかと思います。この例を前例としない、厳正なる条例の適用を今後は考えていかなければならないと思うのでありますが、この件についてどのようにお考えになっておりますか。

次に、13ページをお開きください。土木費に関連をして、市の考え方をお尋ねしようとするものであります。全員協議会の中でコミュニティセンター周辺の土地利用計画が示されました。文化ホール及び国道 410号などの建設用地、さらに駐車場用地など、具体的に示されましたが、もともとここは田んぼであったところであります。これらの施設が立地するようになると、水があふれる——溢水などの排水対策が大変重要な問題になることはこれまでもたびたびこの場で指摘をしてまいりました。周辺の住民の方々もこのことを大変心配しているところであります。この溢水対策について、駐車場の地下を調整池にするという御説明であったと思うのでありますが、それらの規模はどのような考え方でその規模がつけられているのか、御説明をいただきたいと思うのであります。

また、昨年12月議会では境川の改修を求める県知事への意見書を決議したところですが、その後県では調査予算を計上し、流域等の調査をしていると聞いています。境川の改修計画について、その後どのように進展しているか、県より説明があったのか、あるとすれば、その内容についての御説明をいただきたいと思います。

以上、御答弁によりまして再質問をさせていただきます。

◎議長（辻田 実君） 庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） ただいまの神田議員の御質問にお答えいたします。

まず、議案第57号に関します環境衛生費についての第1点目、合併式の普及状況はどうか、単独式との割合の変化はどうかとの御質問でございますが、設置基数に対します合併処理浄化槽の割合は、平成3年度が8.26%、平成6年度が17.81%、平成7年度は現在のところ23.83%になっておりまして、合併処理浄化槽の割合は増加してきております。

第2点目、残土条例の厳正実施についてどう考えるかとの御質問ござい

ますが、行政一般通告質問で三上議員にお答えいたしましたとおり、残土の持ち込みにつきましては法的に規制することはできませんが、周辺地域等に被害を生じさせないように、適正処理に向けて残土条例の運用実施に努めてまいりたいと考えております。

次に、土木費に關します境川の溢水対策及び改修計画についての御質問でございますが、文化ホール計画敷地の雨水排水につきましては、敷地内に調整池を設置し、流量調整を行い、放流する計画でございます。調整池の規模等につきましては、部長より答弁いたします。

また、境川の溢水対策につきましては、現在千葉県において基本計画作成のための調査を実施中であると同っております。

以上でございます。

◎議長（辻田 実君） 三平建設部長。

◎建設部長（三平孝司君） 調整池の規模につきまして御説明申し上げます。

調整池の敷地面積が約1万2,800平方メートル、調整池の容量でございますが、1万1,500立米、この調整池につきましては30年確率ということで設計がしてございます。時間雨量に直しますと78.5ミリでございます。これは、過去には館山市の測候所にはこういう雨量はございません。1972年の9月15日の74.5ミリというのが最大でございます。それに従いまして、調整をする管の口径が26センチということで、これは千葉県の宅地開発指導要綱に基づきます基準に基づいて設計等が実施されているところでございます。

以上でございます。

◎議長（辻田 実君） 以上で20番議員神田守隆さんの質疑を終わります。

以上で通告者による質疑を終わりますが、通告をしない議員で御質疑ありませんか。— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となっております議案第57号乃至議案第59号の各議案は、お手元に配付の議案付託表のとおり、所管の常任委員会に付託いたします。

請願書の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第3、請願第3号乃至請願第5号の各請願を一括して議題といたします。

委員会付託

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました各請願は、お手元に配付の請願付託表のとおり、所管の常任委員会に付託いたします。

議長の報告

◎議長（辻田 実君） なお、この際申し上げます。

12月8日の議会運営委員会までに受理した陳情書は、お手元に配付の陳情送付表のとおり、所管の常任委員会に送付いたしましたので、御報告いたします。

延 会 午前10時30分

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明16日から20日までは委員会審査のため休会、次会は12月21日午前10時開会とし、その議事は、議案第54号乃至議案第59号等に係る各委員会における審査の経過及び結果の報告、討論、採決並びに追加議案の審議といたします。

この際申し上げます。各議案等に対する討論通告の締め切りは12月21日午前9時でありますので、申し添えます。

◎本日の会議に付した事件

1 議案第 5 4 号乃至議案第 5 9 号

1 請願第 3 号乃至請願第 5 号